

▼フルカムカプセル [内] <2024.3 販売中止>

【重要度】 【一般製剤名】 アンピロキシカム ampiroxicam 【分類】 鎮痛・抗炎症剤 [オキシカム系 NSAIDs]

【単位】 ▼13.5mg・▼27mg/cap

【常用量】 27mg/日

【用法】

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 重篤な腎障害患者には腎機能を悪化させるおそれがあり禁忌 (1)

【特徴】 ピロキシカムの胃腸障害を軽減したプロドラッグ。腸管で吸収される際に活性本体のピロキシカムに変換される。

【主な副作用・毒性】 消化性潰瘍、消化管出血、ショック、アナフィラキシー、SJS、TEN、急性腎不全、肝機能障害、骨髄抑制、光線過敏症、眠気、めまい、浮腫、血圧上昇など

【安全性に関する情報】

【吸収】 $ka=0.954/hr$ (1) 主に十二指腸、小腸上部から吸収 (1)

【 t_{max}] 4hr (1)

【代謝】 小腸壁でピロキシカムに変換 (1) 主に CYP2C9 により 5-ヒドロキシ体となりさらにグルクロン酸抱合される (1) 代謝物の活性はごく弱い (1)

【排泄】 尿中にピロキシカムとして 0.2%回収 [po, 216hr まで] (1) 尿中回収率 23%で、主に 5-ヒドロキシピロキシカムのグルクロン酸抱合体が 17~18% [po, 216hr まで] (1)

【CL】 資料なし (1) 計算上 $CL/F=約 4mL/min$ (1)

【 $t_{1/2}$] 42hr (1) $ke=0.0165/hr$ (1)

【蛋白結合率】 99.8% (1)

【Vd】 11.5L/man (1)

【MW】 447.47

【透析性】 資料なし (1) 透析されないと思われる (5)

【O/W 係数】 170 以上 [1-オクタノール/水系, pH7.0] (1)

【相互作用】 リトナビルと併用禁忌 (1) ワルファリンの作用増強 (1) SSRI 併用により出血傾向 (1) 低用量アスピリンの抗血小板作用が減弱 (1) リチウム、ジゴキシン、MTX などの作用増強の可能性 (1) フロセミドの利尿作用減弱 (1)

【更新日】 20240423

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。